

個別事業(取組)評価				
事業No.	43	施策の柱への位置付け	柱⑥ 体力づくり	
事業名称	体力・運動能力、運動習慣等調査事業		担当課	スポーツ健康教育課
			当初予算額(千円)	4,767
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	3,623

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状 (課題) と その要因	<p>【現状】</p> <p>◆ 高知県の児童生徒の体力は、全国平均値より低い状況にある。</p> <p>※H21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(全国順位) 小学5年男子 40位 女子38位 中学2年男子 42位 女子40位</p>	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>◆ 最新のデータにおいても、改善の傾向は見られるものの依然として全国平均値より低い状況にあることが確認できた。</p> <p>※H22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(全国順位) 小学5年男子 40位 女子40位 中学2年男子 34位 女子36位</p>
		<p>【要因】</p> <p>◆ 体力向上に向けた取組が十分に行われていない。</p> <p>※H21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 「継続的に取組を行っている」と答えた学校の割合 小学校 51.1% (全国 63.0%) 中学校 24.8% (全国 21.9%)</p>	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>【参考】</p> <p>※H22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 「継続的に取組を行っている」と答えた学校の割合 小学校 54.2% (全国 68.1%) 中学校 39.7% (全国 25.5%)</p>
②	目標 (Outcome)	<p>◆ 体力・運動能力、運動習慣等調査により学校・地教委・県の実態を明確にし、報告書等を通して周知する。</p> <p>【目標数値】 H22年度高知県体力・運動能力、運動習慣等調査 参加率 小学校・中学校 100%</p>	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>今年度は初めての実施でもあり、文部科学省の抽出調査と重複している学校もあるため、地教委及び学校現場の意識の向上を図るために参加率を目標とした。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査の参加率 ・ 小学校 100% ・ 中学校 100% (H22高知県体力・運動能力、生活習慣等調査の実施率) ・ 小学校 78% (前年度比 18pアップ) ・ 中学校 100% (H21年度から100%実施) ※小学5年以外の新体力テストの実施率が上昇傾向にある。</p> <p>◆ 地区別分析、3カ年の経過分析等を通して、体力低下要因について課題を明らかにすることができた。</p> <p>◆ 報告書については、全国調査結果を加味したため、配付が3月になり、周知が十分できなかった。</p>
		<p>【検証(比較)方法】</p> <p>◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査の実施率</p>	
③	実施内容 (Input・Output)	<p>◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査の実施</p> <p>◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成・配付</p> <p>・ 全ての学校に調査用紙提出後3週間以内に調査結果を送付</p> <p>・ 調査報告書を10月末までに作成・配付</p>	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>)</p> <p>◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査 ・ 5月 調査用紙 配付</p> <p>・ 4~10月 調査実施・調査用紙提出 ※調査用紙の回収が徹底できていなかった。</p> <p>・ 平成23年3月 調査報告書配付 ※全国体力・運動能力、運動習慣等調査の集計結果を加味したため、計画が5カ月遅れた。次年度は、10月を目処に作成を行う。</p>
		<p>目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <b>オ</b></p> <p>【総合評価】 体力向上に向けた取組を充実させるためには、現状把握・分析のための客観的なデータは必要不可欠である。学校においては、実施後3週間程度で詳細なデータが提供されることで効果的に活用することができた。 また、県においても詳細な分析がなされたことで、課題を明確にした取組を計画することができた。今後は、効果的な活用方法について、各学校へ情報を提供することが必要となる。</p>	<p>【今後の方向】</p> <p>◆ 2年目を迎える次年度は、調査結果の活用方法の充実が重要な課題となる。そこで、実施内容について下記の事項を検討している。</p> <p>・ 有効な活用方法についての事例を収集し、県内に広げていく。</p> <p>・ 指導事務担当者会を通して、活用方法の周知を行っていく。</p>
総合評価 と 今後の方向			